

普及活動情勢報告（令和4年7月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

穂肥現地検討会の開催 ～JA高知県四万十酒米生産部会～



検討会の様子

7月12日、JA高知県四万十酒米生産部会の穂肥現地検討会が開催され、生産者7名が参加しました。

普及所は、高品質米生産に向けた穂肥施用のタイミング、病虫害防除について情報提供を行いました。

生産者からは、幼穂長の確認の仕方や穂肥の施用量、いもち病の発生状況など様々な質問がありました。

普及所は、今後もJAと連携しながら、高品質な酒米生産を推進していきます。

女性達の熱い想いが四万十町で響きました！ ～高知県農村女性リーダーネットワーク総会～



次世代を担う若手も熱心に議論に参加

7月1日、高知県内の農村女性リーダーら約60名が四万十町に集い、農村女性リーダーネットワーク総会が開催されました。

同ネットワークは平均年齢が61才で、若い世代を活動にどう取り込むかが課題になっています。昨年度は女性リーダー活動のあり方についてオンライン研修を行ったり、農家経営を「見える化」する家族経営協定や、農業法人の働き方改革やGAP認証等の活動事例研修等を行いました。総会でも、SNS等を活動に活かそうなどの様々な前向きな意見が出されました。

今年は県西部が総会開催の当番で、普及所は、会の準備や運営など、女性リーダーや関係機関と協力して支援しました。今後も農村女性が地域で生き生き活動できるよう、支援していきます。

集落営農法人の農作業の省力化に向けて ～経営・栽培管理システム講習会～



システムの操作方法を学んでいる参加者

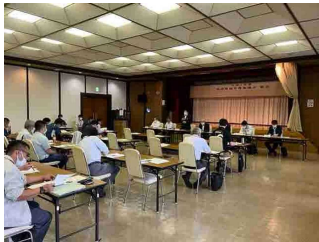
7月19日、普及所で経営・栽培管理システムの講習会を開催し、四万十町と中土佐町の2法人(3名)が参加しました。

農地集積が進む中、農作業の省力化等に向けて、まずはほ場・作業別の作業時間を把握するため外部講師を派遣して、システムの操作方法などを学びました。

参加者から、「ほ場情報を紙で作成していたが、システムで簡単に登録できるので便利」などの意見がありました。

今後はシステムの活用を促しながら操作のフォローを行い、作業時間の把握により、農作業の省力化につなげていきます。

現場の課題解決で、地域農業の発展を目指す ～令和4年度高南地域営農協議会総会を開催～



総会の様子

6月21日、JA高知県四万十農協会館で、令和4年度高南地域営農協議会総会が開催され、JA高知県、四万十町、中土佐町、普及所、ほか4関係機関から約50名が参加しました。

総会では、令和3年度事業報告及び収支決算報告、令和4年度事業計画案及び収支予算案について協議し全て承認されました。

この協議会は、企画・担い手、作物振興、畜産振興、販売・加工の4つの専門部会で構成されており、令和4年度も部会間の連携を図り、特産のニラと四万十豚の販売促進や難防除土壌病害対策等の課題解決に取り組むことになりました。

普及所は、同協議会の事務局を担うとともに、各専門部会で関係機関の連携した取組を促し、課題解決を図ります。

農福連携の推進に向けて ～四万十町農福連携推進協議会を開催～



推進協議会の様子

7月15日、普及所で、令和4年度第1回四万十町農福連携推進協議会を開催し、協議会関係組織から12名が出席し、今後の四万十町内における農福連携の取組方針について話し合いが行われました。

同協議会は、農業法人、障害者就労支援事業所、社会福祉協議会、町役場、JA、普及所で令和元年度に発足し、現在まで農福連携の勉強会や農作業体験会の開催などに取り組み、令和2年度には実際に雇用就農となった事例があります。本年度においても、協議会メンバーで連携して農福連携の推進を行っていきます。